

介護人材実態調査 集計結果

2023/03/17
兵庫県赤穂市

発送事業所数：49件

回収事業所数：42件

回収率：85.7%

(注1) 不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。

(注2) グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。

(注3) 構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

(注4) 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。

【介護人材実態調査】

調査の目的

- ・ 介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握します。
- ・ そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的としています。

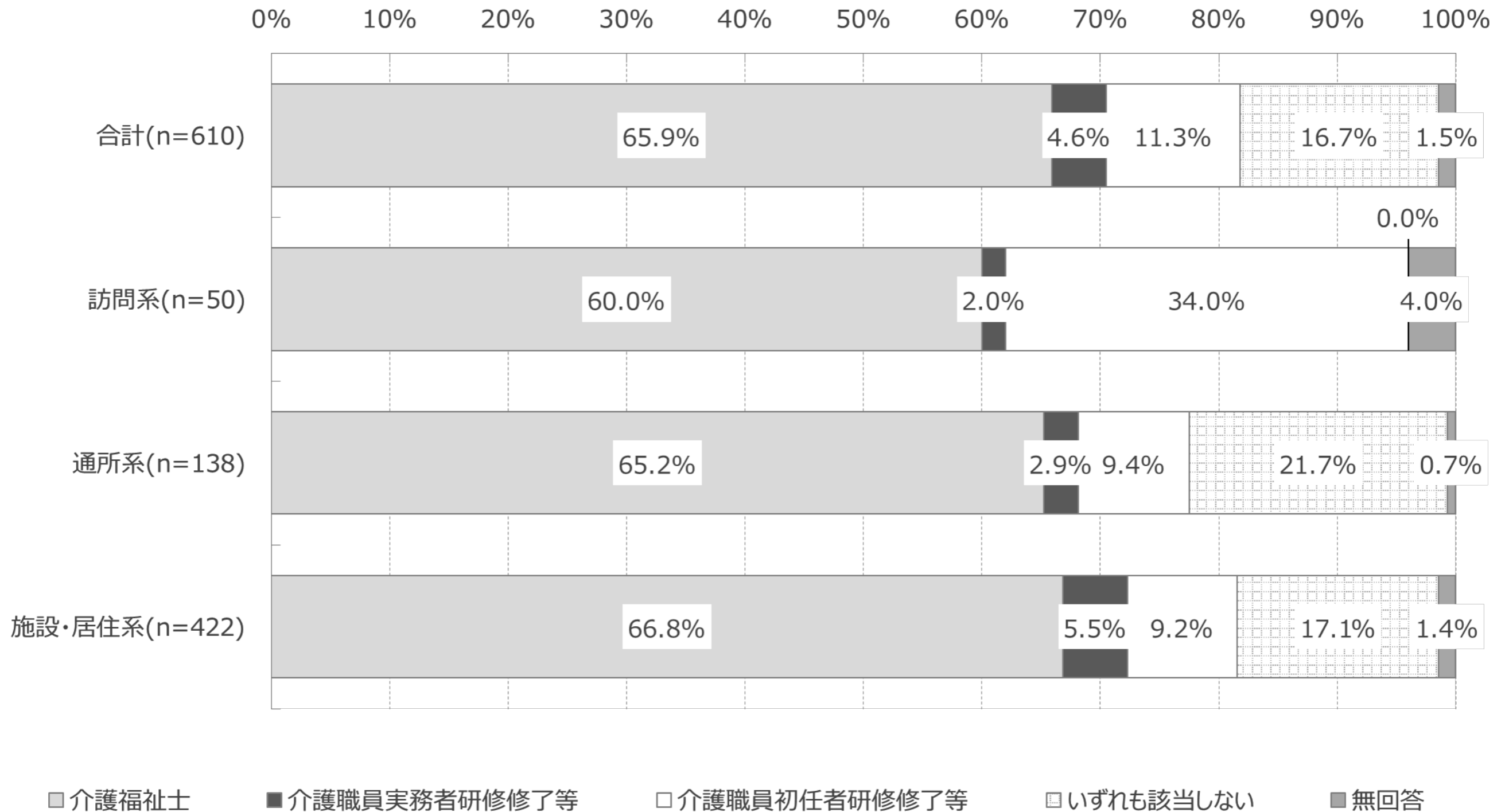
調査の概要

- ・ アンケートは、事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・ 調査では、各事業所等に所属する介護職員の数や、採用・離職の状況に加え、各介護職員の属性を個別にご回答いただくことで、多様なクロス集計を可能にしています。
- ・ また、訪問介護事業所については、別途に職員が回答する「職員票」を用意しています。これは、特に訪問介護について、個々の職員の身体介護・生活援助の提供状況を把握することで、サービス提供に見直しの余地がないか検討することを想定しています。
(例えば、買い物や調理・配膳などの提供を、地域のボランティア等が担うことはできないか検討するなど)

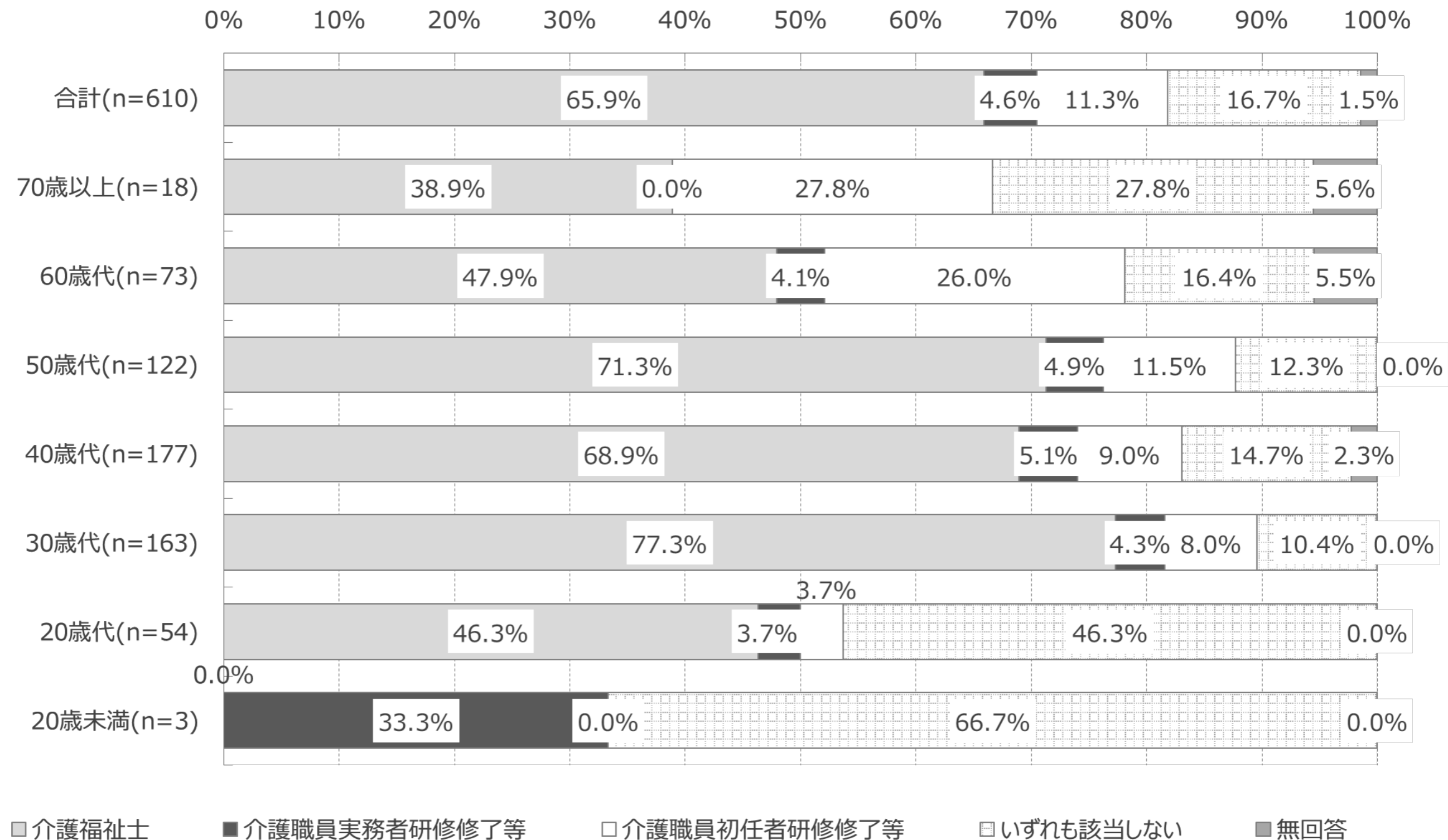
注目すべきポイント

- ・ サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？
(サービス系統別に大きな偏りはみられないか)
- ・ 過去1年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は？
(要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか)
- ・ 訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか？
(生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか)

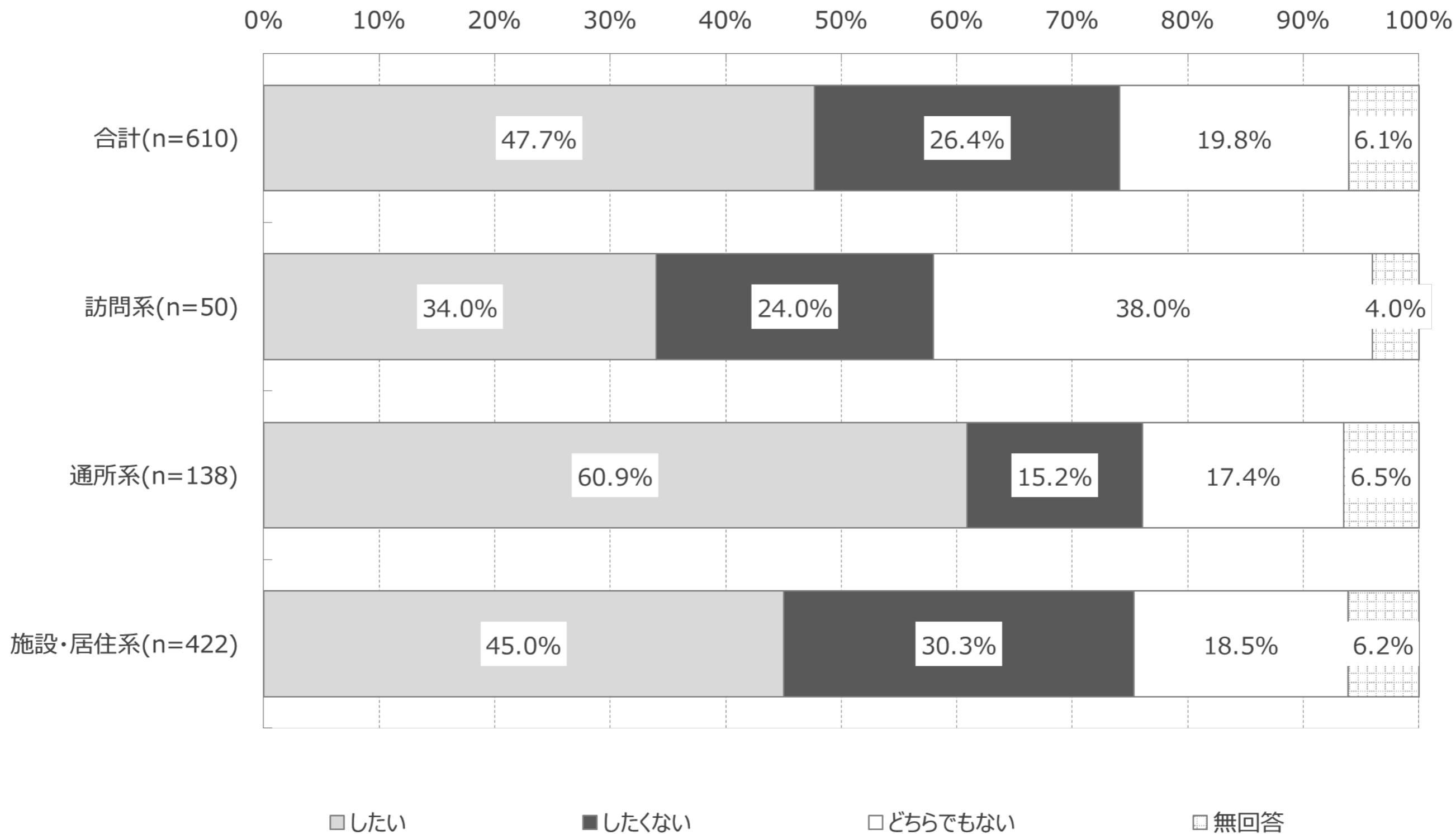
サービス系統別の資格保有の状況



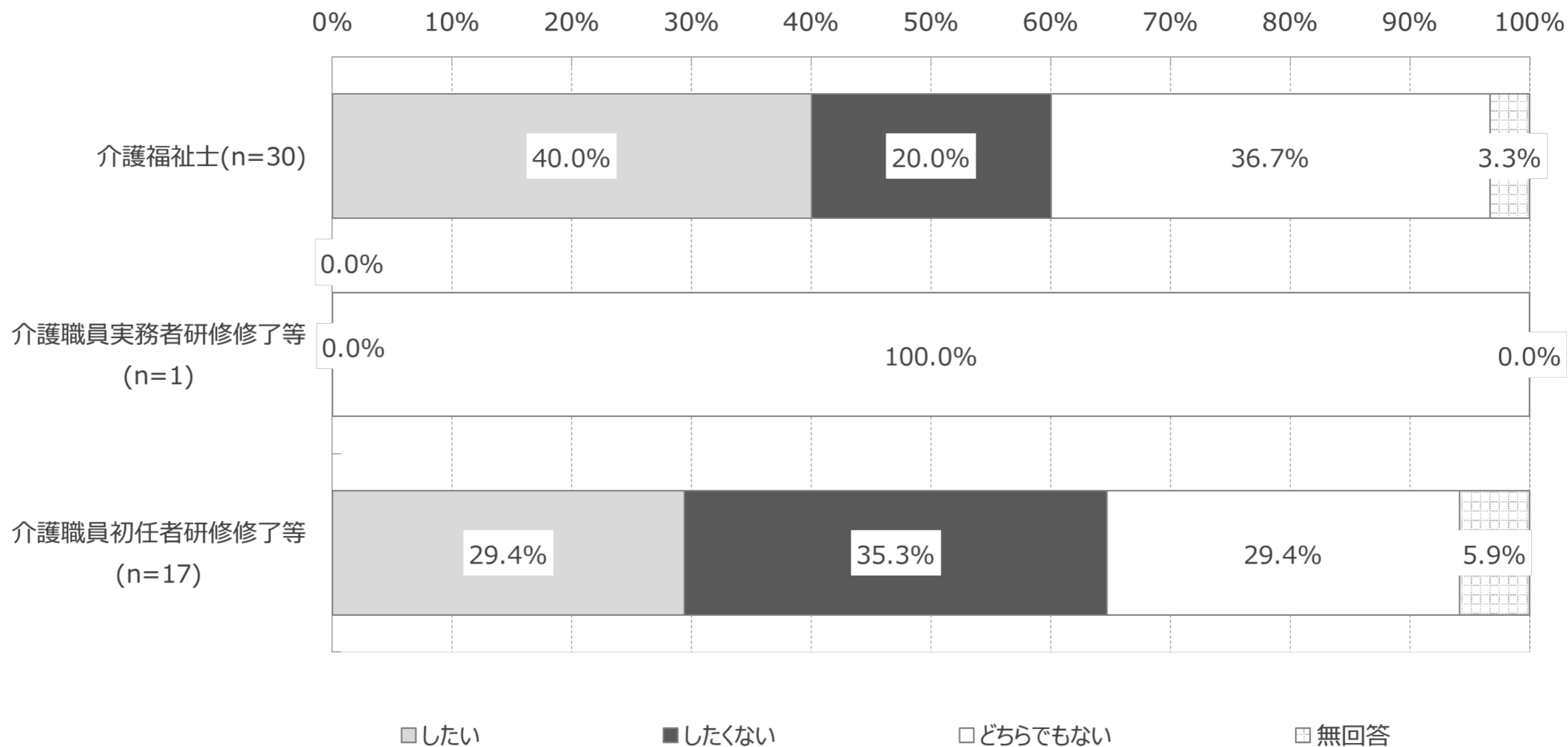
年齢別の資格保有の状況



一部費用助成制度を利用したあらたな資格の取得意向

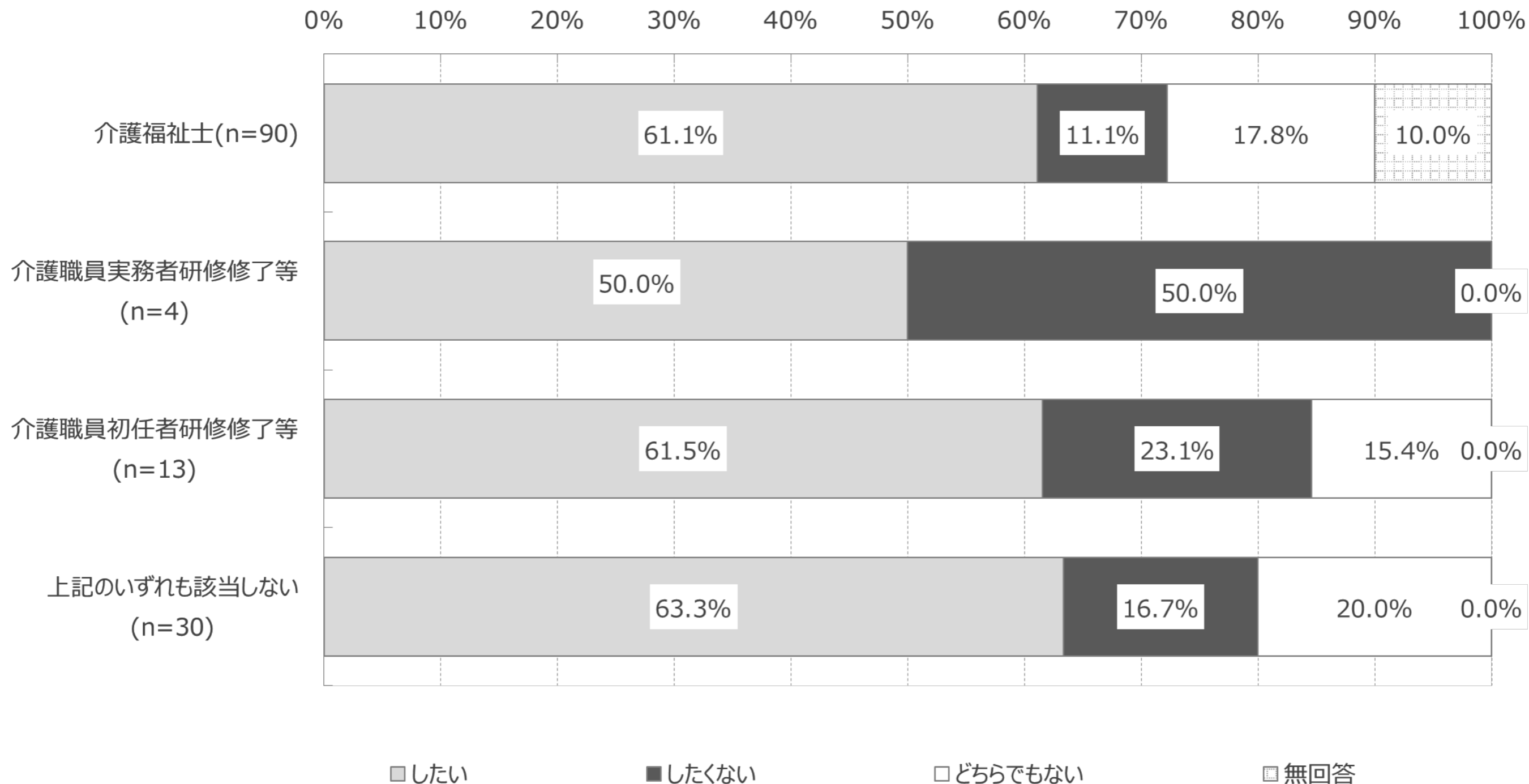


職種別の一部費用助成制度を利用したあらたな資格の取得意向（訪問系）



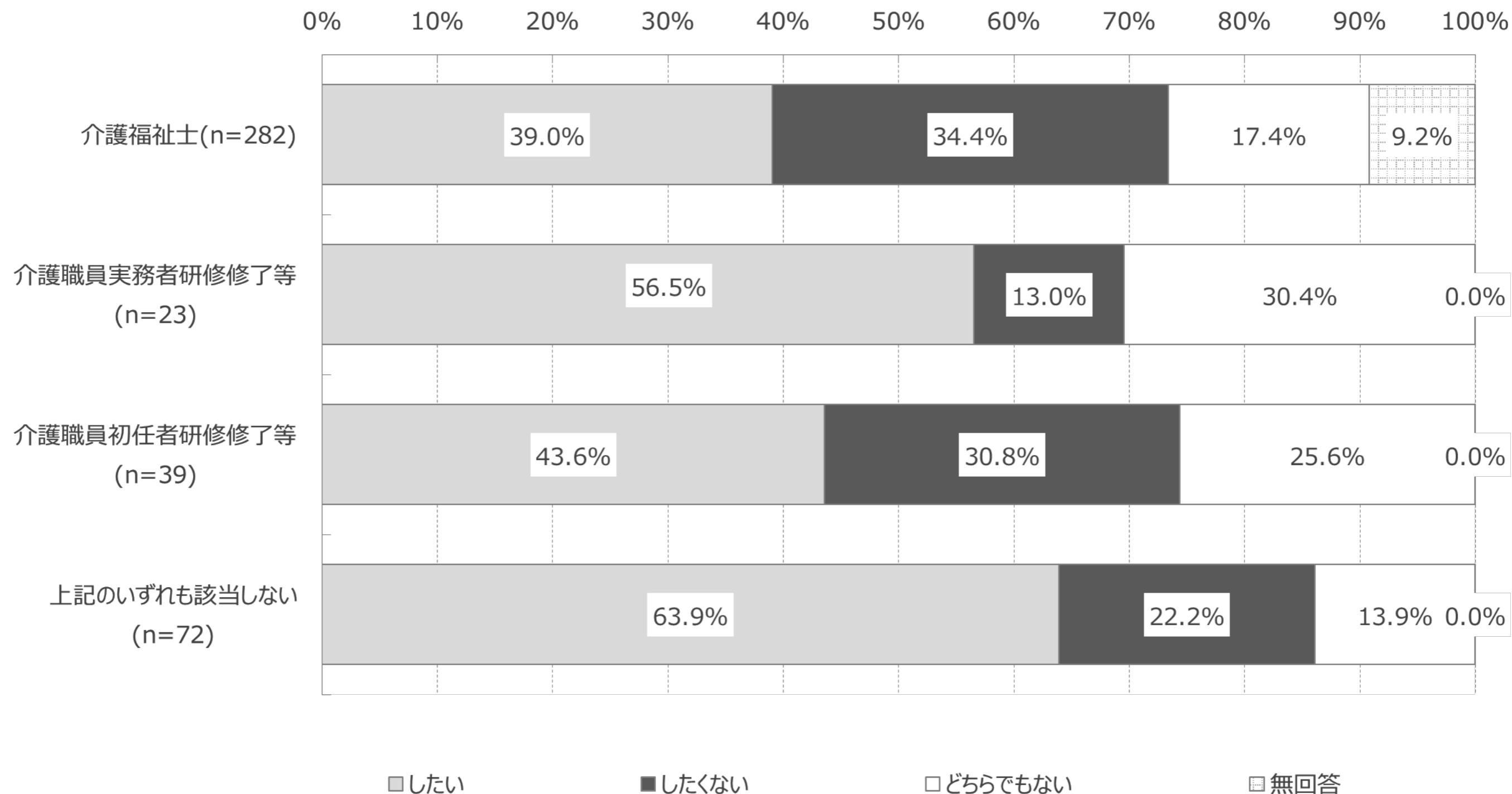
(注) 職種不明の場合は除いています。

職種別の一部費用助成制度を利用したあらたな資格の取得意向（通所系）



(注) 職種不明の場合は除いています。

職種別の一部費用助成制度を利用したあらたな資格の取得意向（施設・居住系）

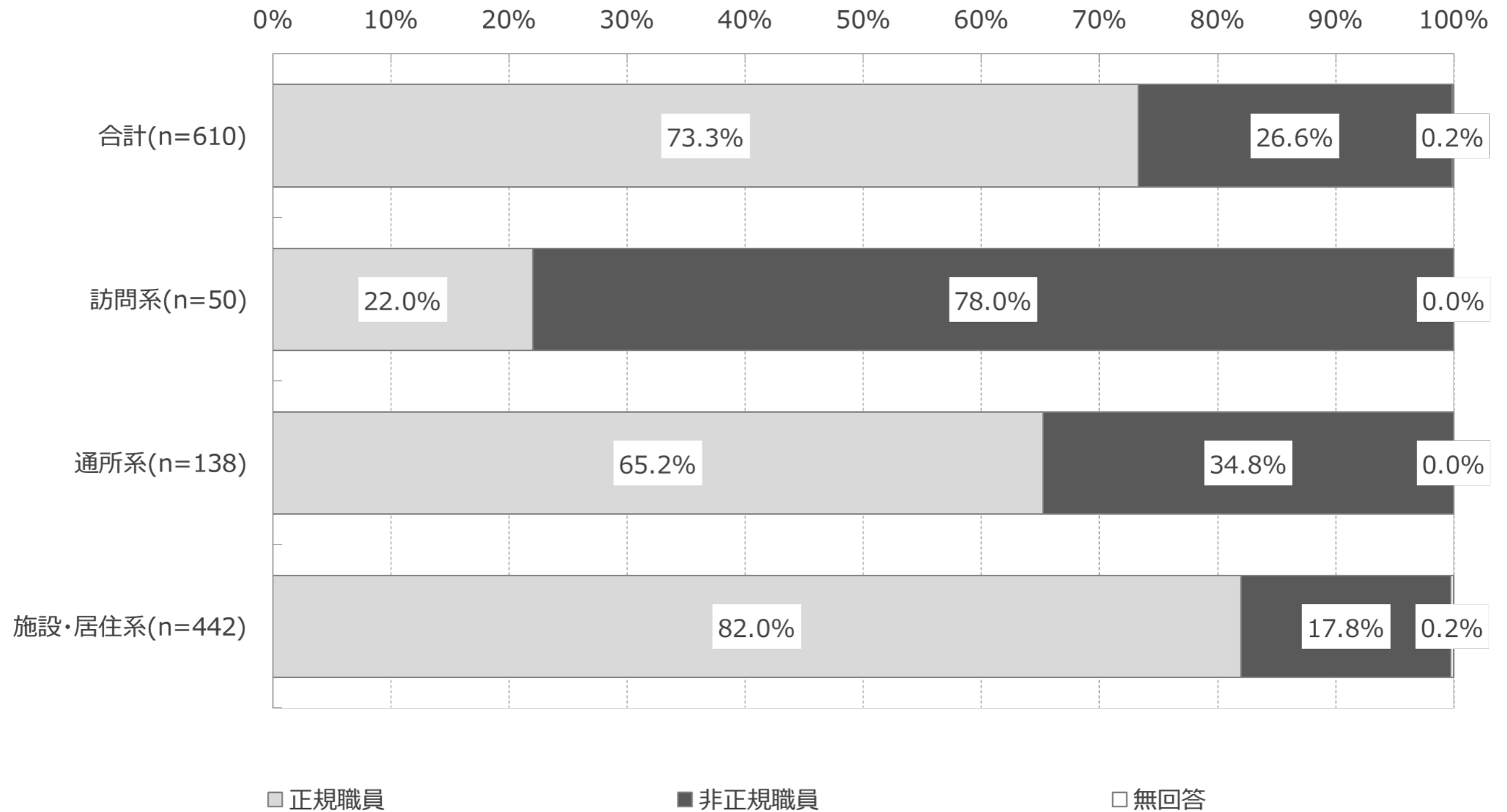


(注) 職種不明の場合は除いています。

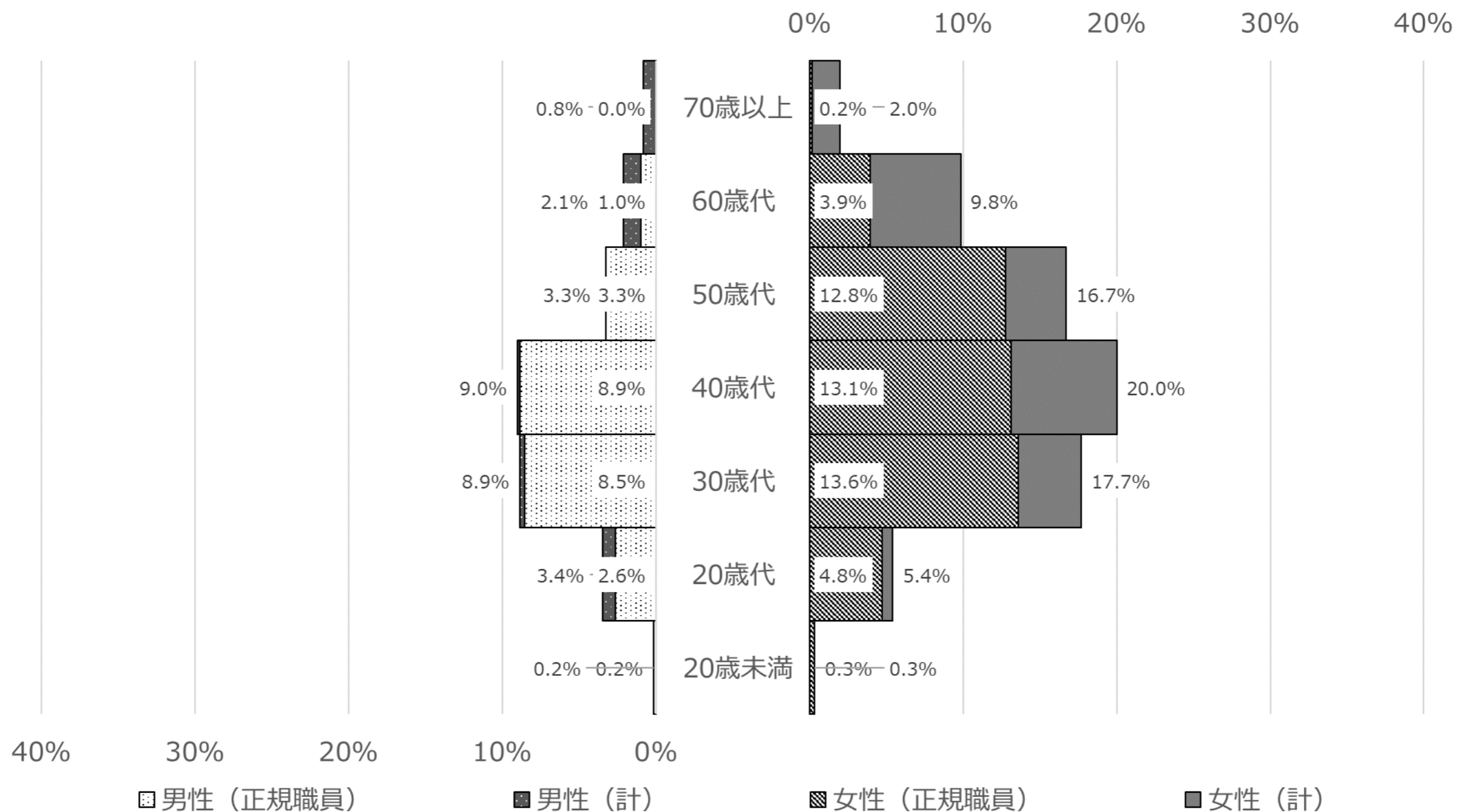
資格保有の現状と課題

- 訪問系では、取得率が他のサービスシステムよりも高いものの、さらなるキャリアアップの支援が必要と考えられる。
- 通所系では、現状資格を有さない職員が多いが、取得意向のある職員は6割以上いるため、取得を支援することで取得率向上が見込める。
- 施設・居住系では、資格を有さない職員の6割以上に取得意向があるため、取得を支援することで取得率向上が見込める。
- 20歳代以下の取得率が低いため、いかに高めていくかが重要である。

サービス系統別の正規職員・非正規職員の割合

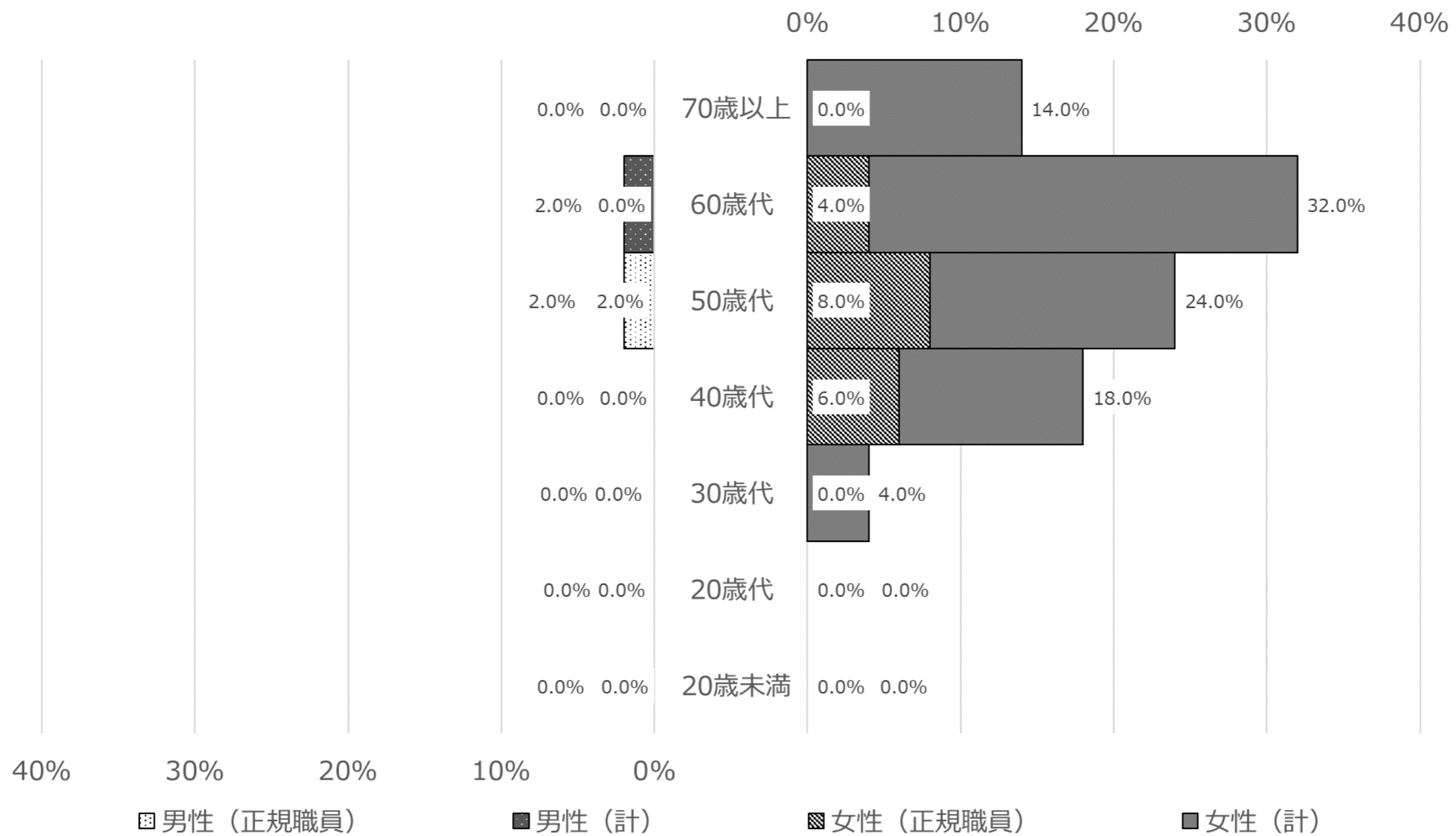


性別・年齢別の雇用形態の構成比（全サービス系統合計、n=610）



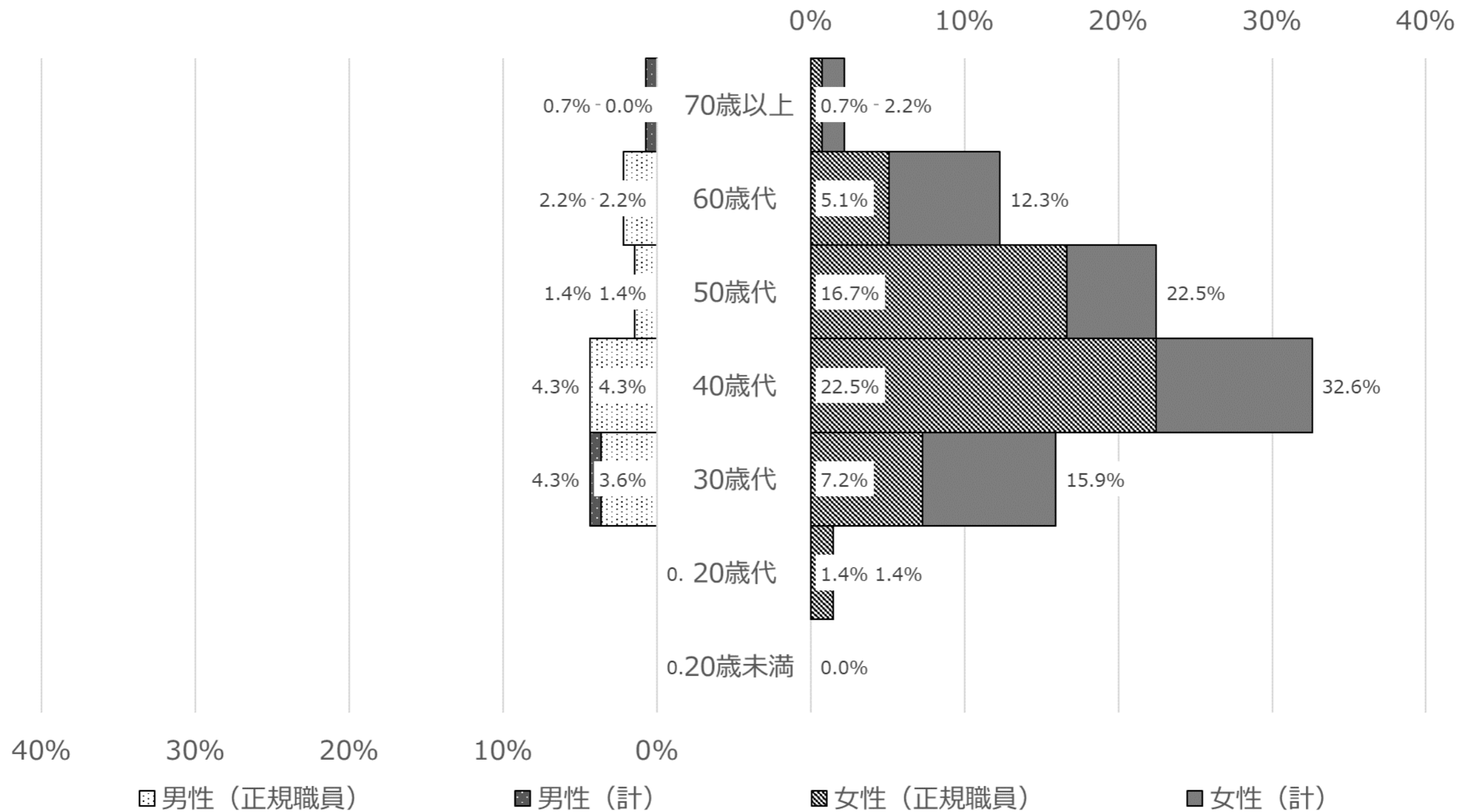
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=50）



（注）分母には年齢不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系、n=138）



(注) 分母には雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系、n=422）

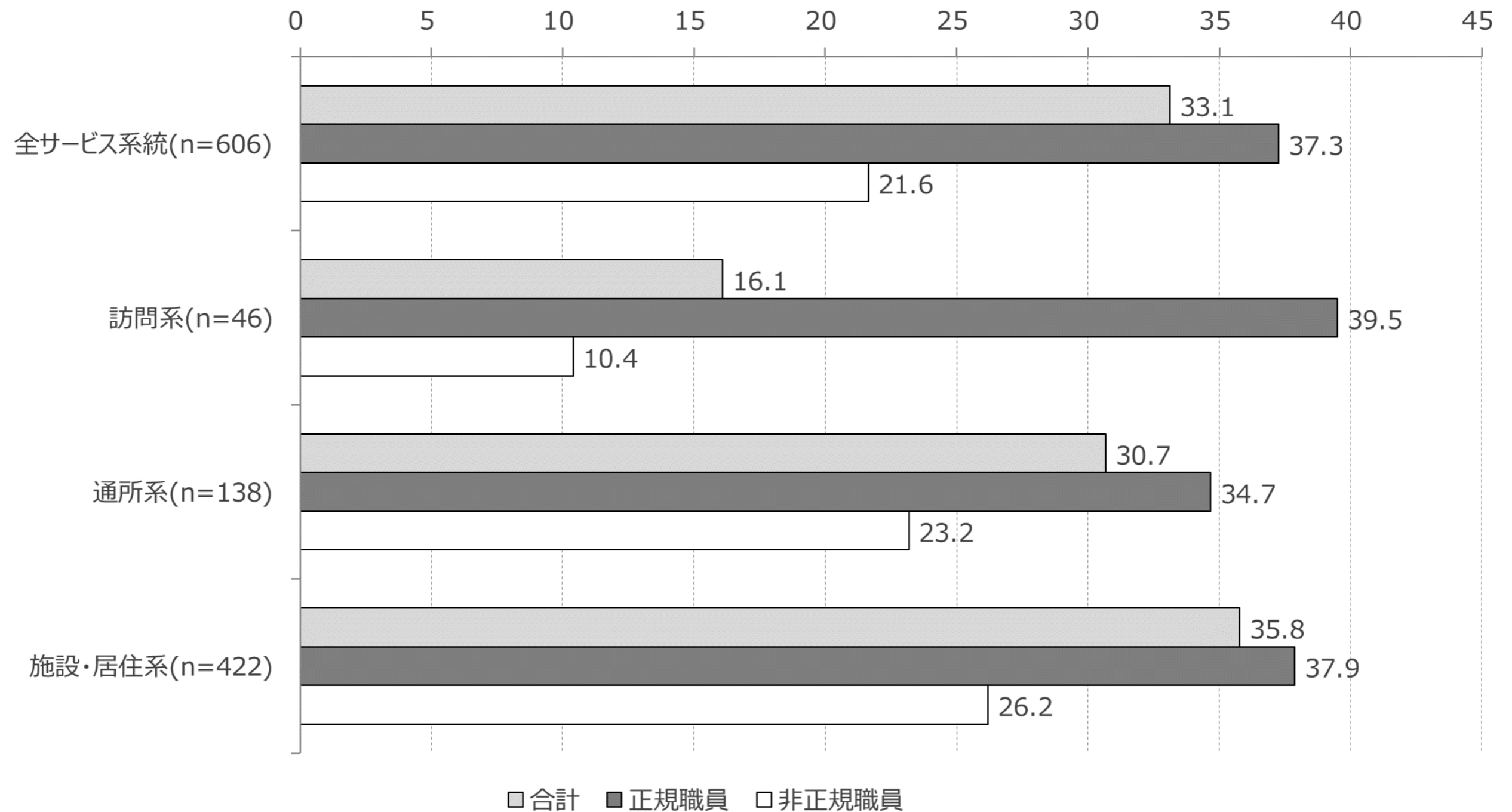


（注）分母には雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

職員の雇用の現状と課題

- いずれのサービス系統でも、若い職員の確保が課題である。
- 特に訪問系は、他のサービス系統よりも職員の年齢層が高く、女性の非正規職員が多い。若い人材の確保の優先度が高いと考えられる。
- 一方で、訪問系は70歳以上でも比較的働きやすいサービス系統であることがうかがえる。
- 施設・居住系では、男性に比べて女性で職員に占める正規雇用の割合が少ない。

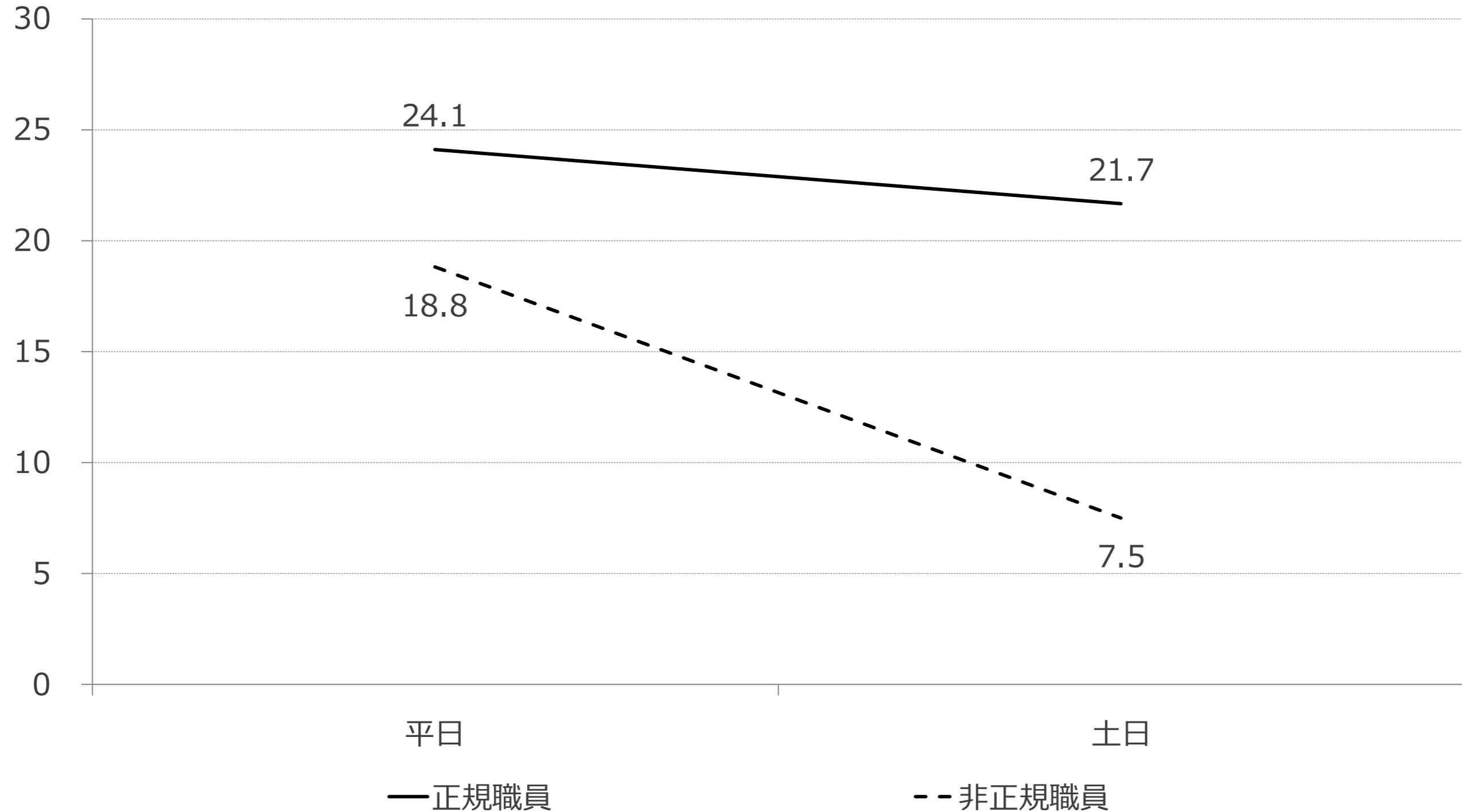
職員1人あたりの1週間の勤務時間（単位：時間）



■ 合計 ■ 正規職員 □ 非正規職員

(注1) 勤務時間について回答があった方を分母としています。
(注2) 「合計」には雇用形態不詳の方を含めています。

平日・土日別の職員1人・1日あたり 訪問介護サービス提供時間（身体介護、単位：分）



サービス提供量（時間）の現状と課題

- 非正規職員が多い訪問系では、非正規職員の勤務時間が他のサービス系統よりも短い。十分なサービス提供量（時間）となっていない可能性がある。
- 非正規職員の土日の提供時間の減り幅が大きい。単身世帯の多い地域において、土日を含めたサービス提供量（時間）の確保が課題である。

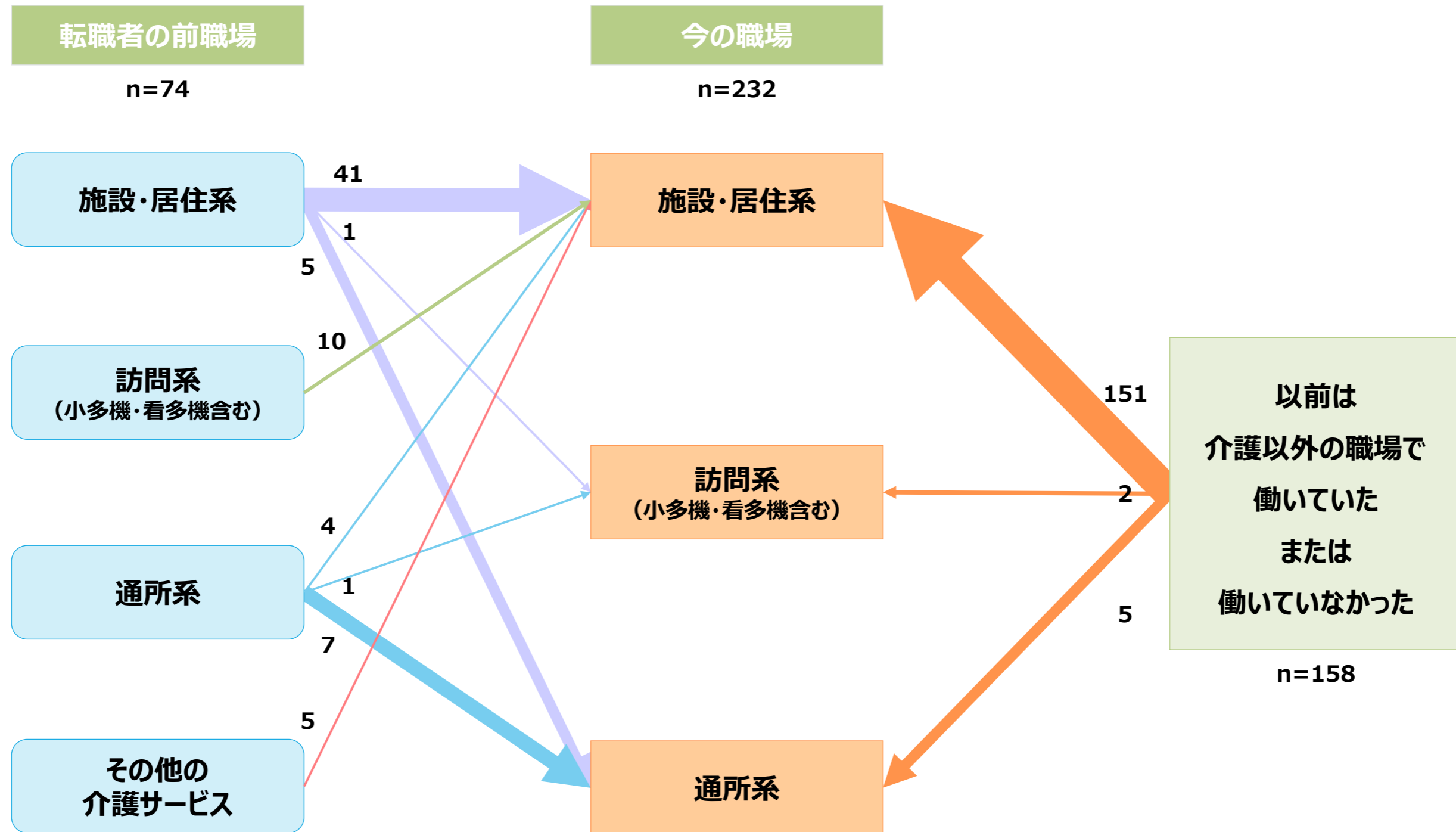
介護職員数の変化

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス系統(n=42)	451人	195人	646人	52人	27人	70人	30人	23人	52人	105.1%	102.1%	102.9%
訪問系(n=3)	13人	44人	57人	5人	11人	7人	2人	5人	6人	130.0%	115.8%	101.8%
通所系(n=17)	87人	71人	158人	7人	11人	18人	10人	11人	21人	96.7%	100.0%	98.1%
施設・居住系(n=22)	351人	80人	431人	40人	5人	45人	18人	7人	25人	106.7%	97.6%	104.9%

前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	96人	100.0%	2人	100.0%	16人	100.0%	78人	100.0%
同一市区町村	61人	63.5%	0人	0.0%	13人	81.3%	48人	61.5%
他の市区町村	35人	36.5%	2人	100.0%	3人	18.8%	30人	38.5%

過去1年間の介護職員の職場の変化 (同一法人・グループ内での異動は除く)

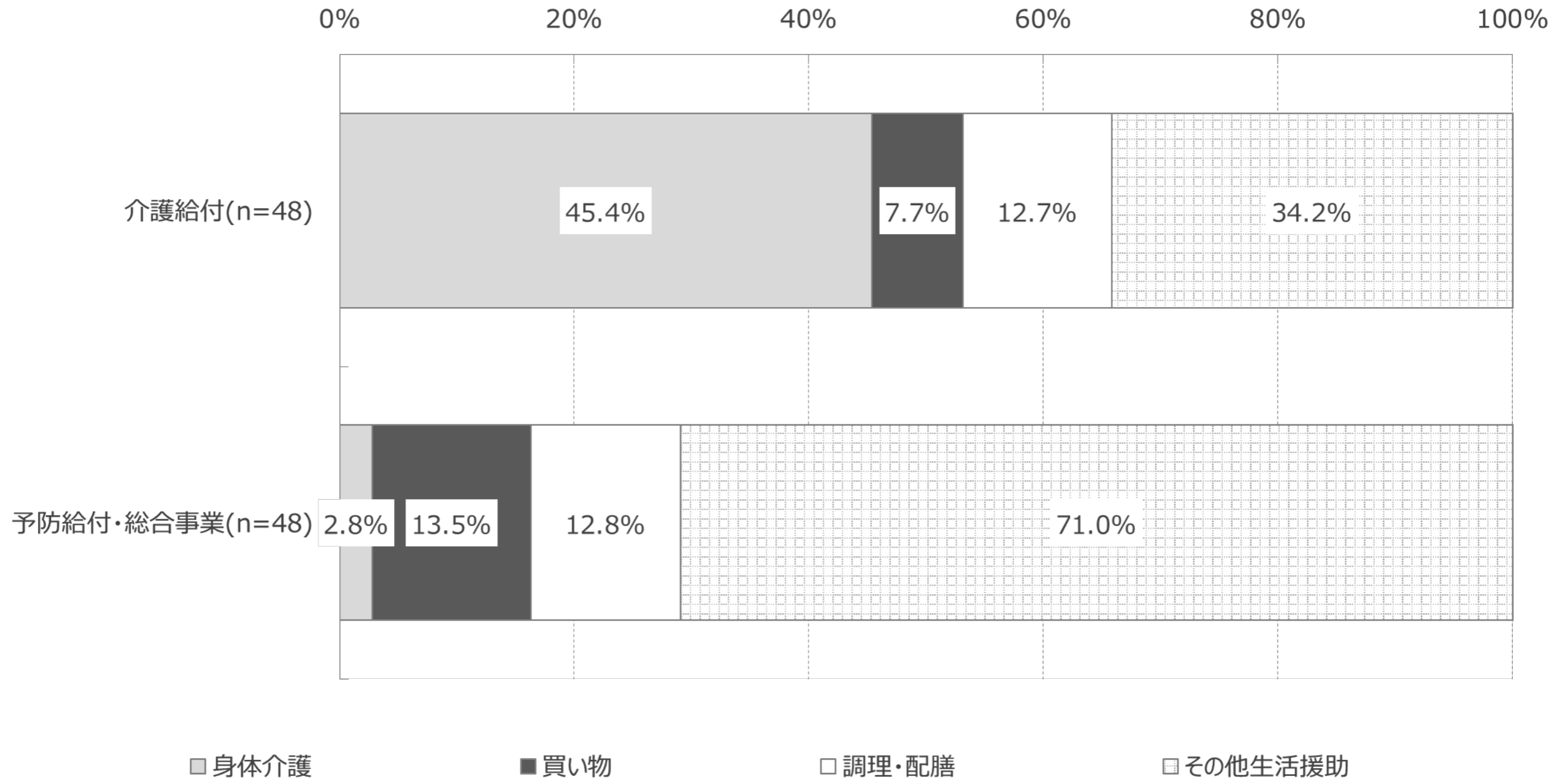


(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

人材確保の現状と課題

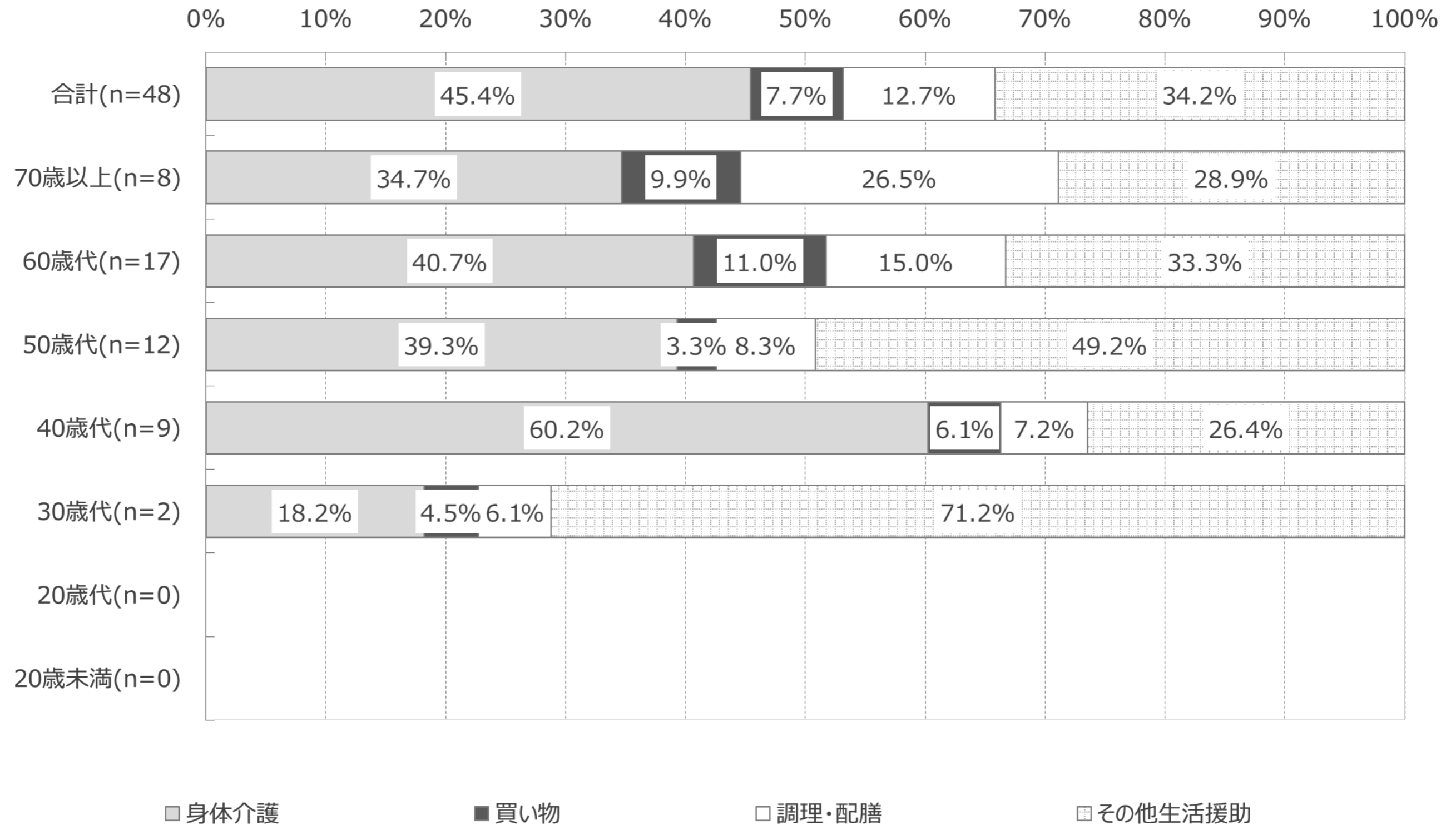
- 将来の要介護認定者数の伸び率と比較し、需給関係を確認することが必要。
- 施設・居住系では市外からの流入も見られるため、周辺地域における施設整備の状況を視野に入れた検討が必要。
- 高齢化・非正規雇用の多い訪問系の人材動線が少ないため、こういった経路で確保を目指すか戦略の検討が必要。

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

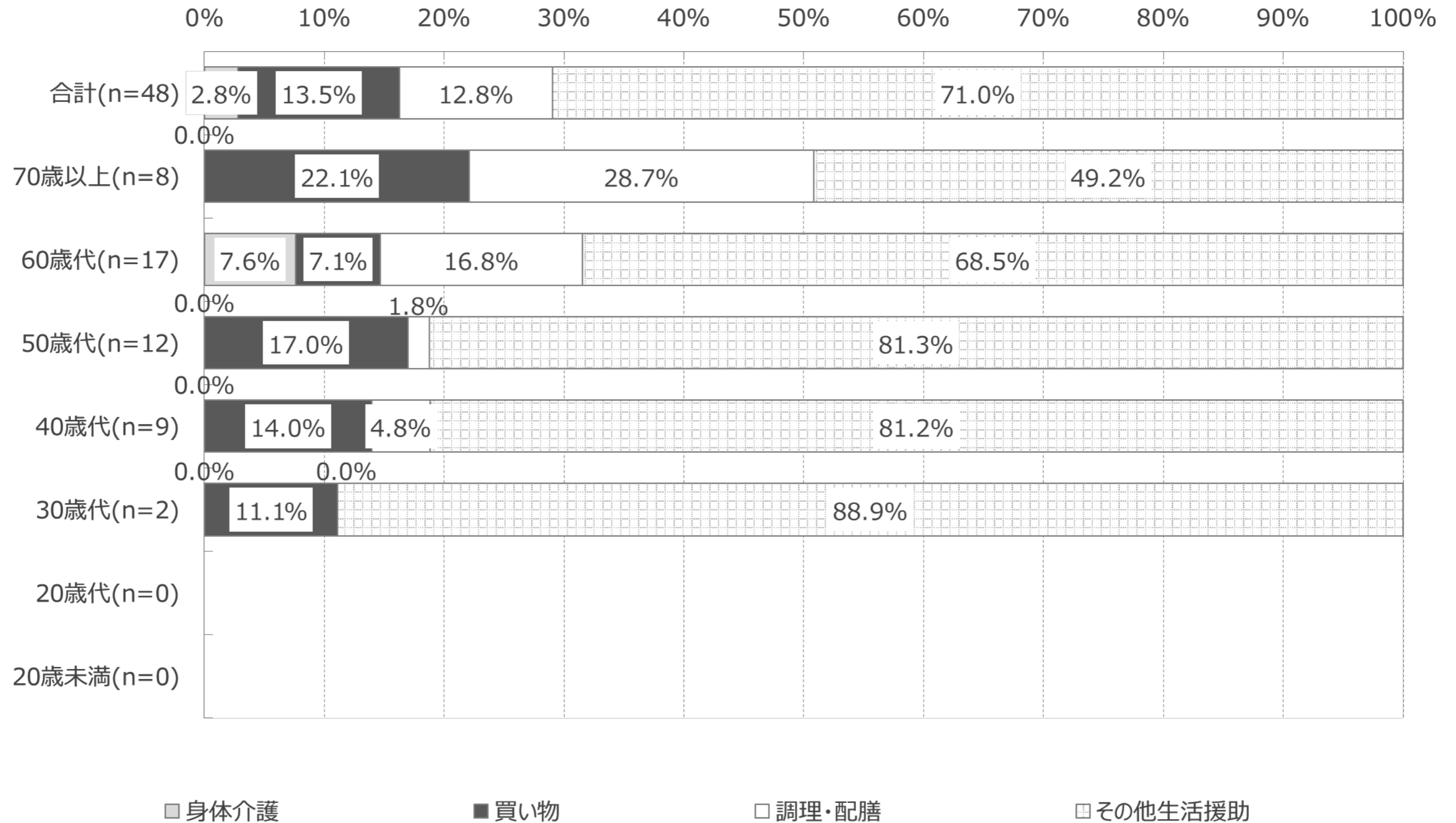
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

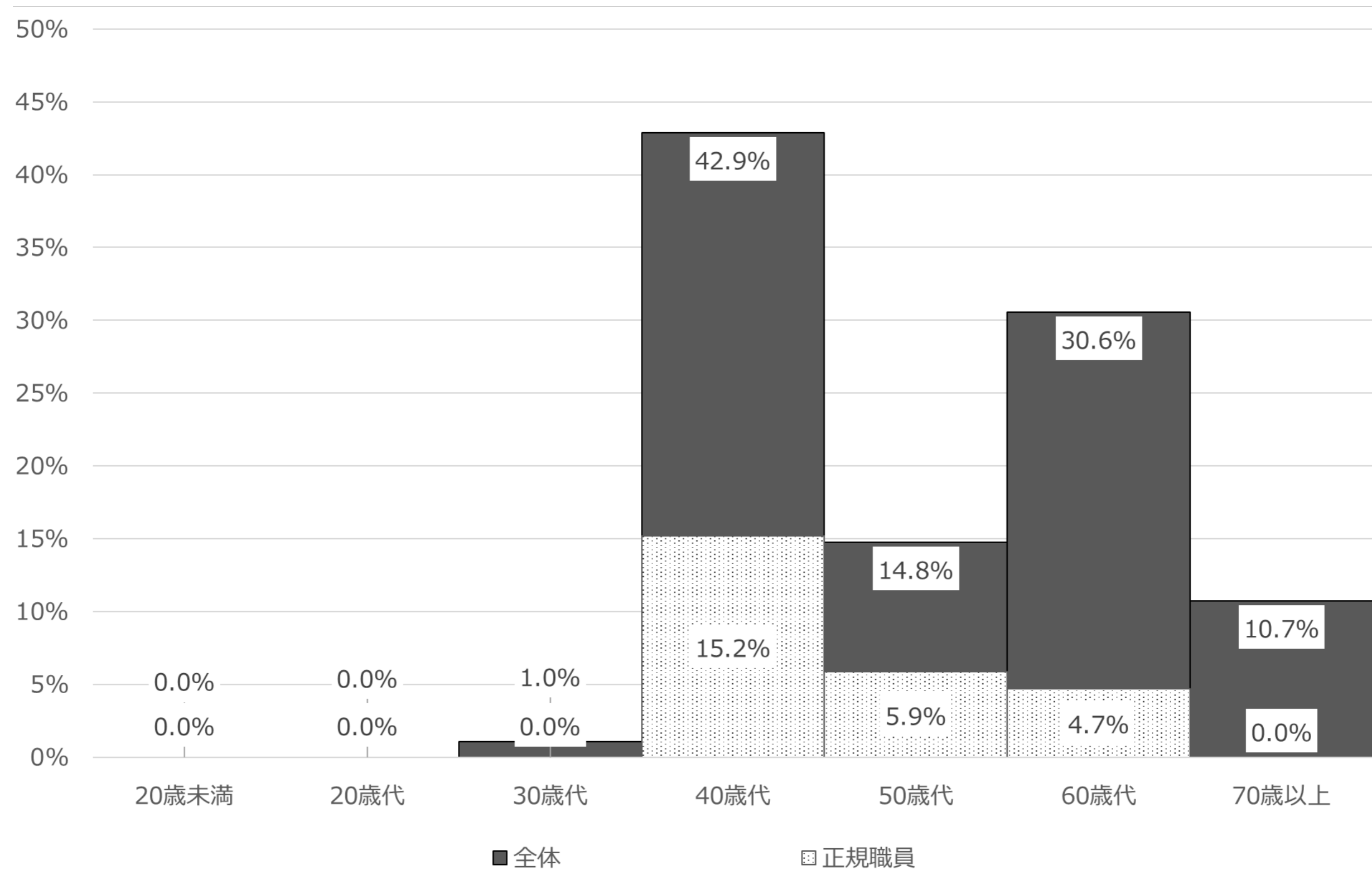
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

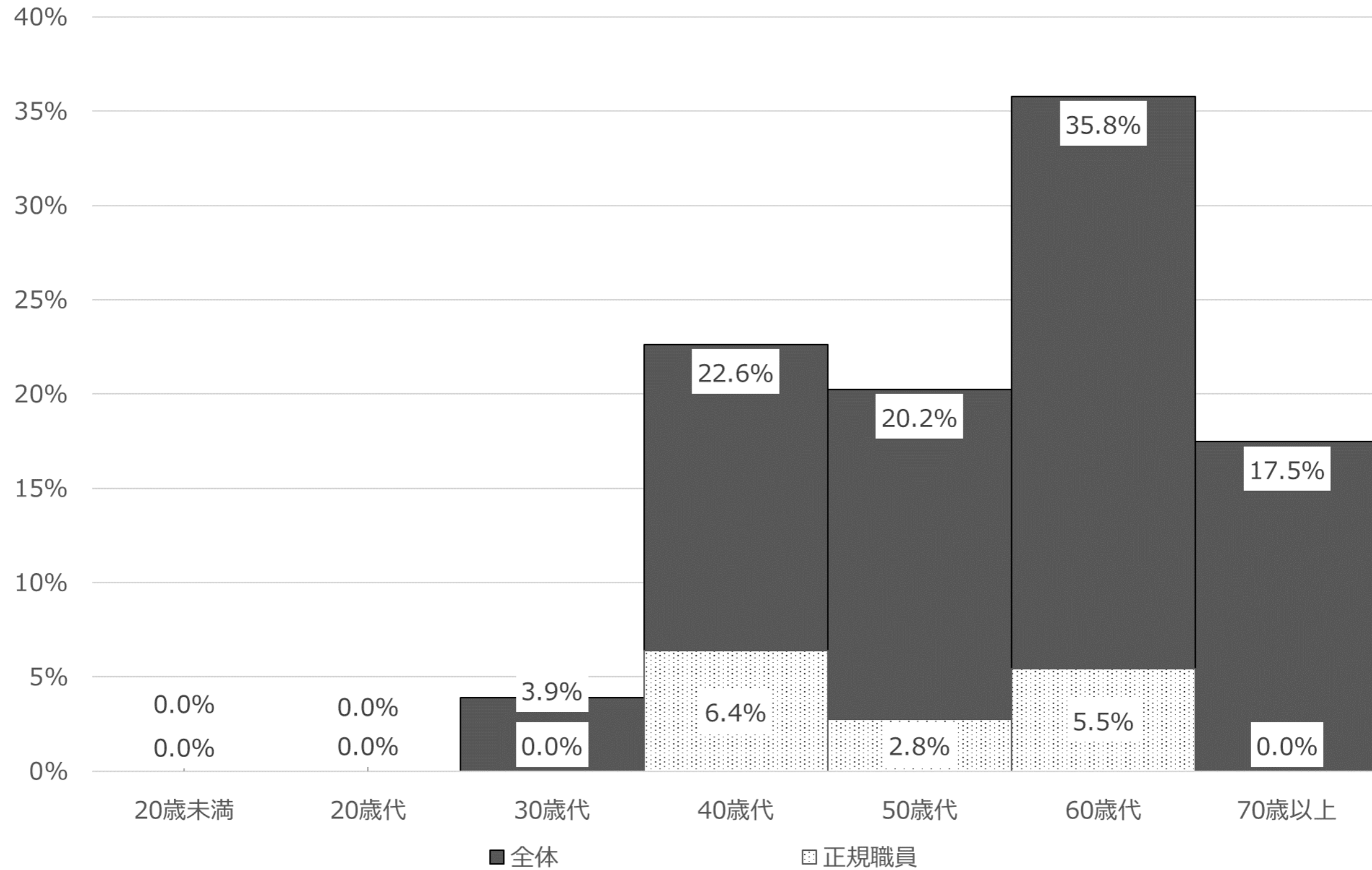
(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）



(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



(注) 全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

訪問介護サービス提供の現状と課題

- 訪問介護サービス（介護給付）の提供時間の3割を「その他の生活援助」が占めている。民間サービスの活用なども含めた効率的なサービス提供のあり方の検討が必要と考えられる。
- 身体介護のうち4割が60歳以上によって提供されている。また、身体介護よりも生活援助の割合が多い年齢がほとんどである。職員の高齢化に備えたサービス提供体制の見直しが必要と考えられる。
- 非正規職員がほとんどの身体介護を行っている。非正規職員は特に土日におけるサービス提供量（時間）が少ないため、十分なサービス提供量の確保が課題である。